

ショートステイ便り

ショートステイでレクリエーションとして『書道』を行いました。雨が降りまだ肌寒い季節となっておりますが、ご利用者の皆様は夏を感じられる言葉を選び、それぞれ紙に認められました。お隣の方と話して笑い合ったり、満足されるまで書き続けたりと自由に過ごされ、参加されたご利用者からは「なかなかできる事じゃないから、楽しかった」とお声をいただくことができました！参加されなかったご利用者も、できた作品を見て「上手だねえ」「もう夏になるんだね」と、ショートステイ全体で夏を感じることができました！

介護事業部第2課 大嶋優里



青梅紹介

新町の井戸

あゆみえんのある青梅市新町は、もとは新町村と呼ばれた武蔵野台地で最初の「新田集落」です。「新田集落」とは安土桃山時代までに成立した多摩川近くや霞川北側の古集落に対し、江戸時代（1603年～1868年）にできた集落を意味します。

新町村は1611年に吉野織部之助によって水もない荒涼とした場所に新しく開拓されました。人々の生活用水の確保のため、織部之助は自宅の庭先に井戸を掘りました。11日かけて深さ27mまで掘ったところで安定的に水を得られることがわかり、その後、集落の井戸と人の数が増え、1616年開拓地を「新町村」と名付けました。今も旧吉野家住宅の井戸と、新町御嶽神社に隣接する大井戸（まいまいず井戸）が有名ですが、そこから新青梅街道を西に向かって「鈴法寺跡」バス停まで歩くと、歩道に「〇〇井戸跡」という石柱をいくつか見ることができます。自動車からでは見つけにくいので、歩いて探すことをお勧めします。



総務課 福岡直子

□ あゆみえんインフォメーション □

詳しいお問い合わせは、あゆみえん、相談課まで
電話 **0428-30-5550**

あゆみ VOL.116

発行 社会福祉法人 徳心会
特別養護老人ホーム あゆみえん 広報委員会
〒198-0024 東京都青梅市新町9丁目2153番地3
TEL.0428-30-5550 FAX.0428-30-5570

発行人 園長 岸田和代
編集人 広報委員長 岸清孝
発行日 令和7年7月15日
E-mail ayumien@tokushinkai.jp
H P https://tokushinkai.jp/



※写真につきましては、ご利用者およびご家族の了解を得て掲載しております。
※撮影のため一部マスクをはずしております。

夏になりました！今年も暑い日が多いですね。

あゆみえんでは8月9日（土）に納涼祭を開催します。

今年もたくさんの方の来園をお待ちしていますので、是非とも一緒に楽しみましょう。

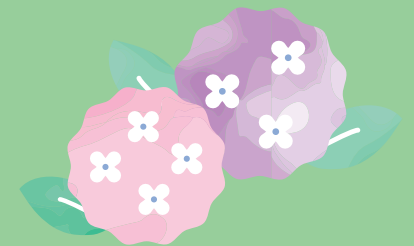


介護事業部第5課 久保田萌奈

特別養護老人ホームあゆみえん広報誌

あゆみ vol.116

令和7年
夏号



ごあいさつ

令和7年度あゆみえん・あゆみ保育園に7名の仲間が加わりました。人材は、あゆみえんにとっても福祉業界にとっても「宝」です。大切に育てていきたいと思っています。

私事ではありますが、4月より総務部に配属となりました。それまでは在宅事業部で「暮らし」を大事に考えてきました。その人らしさとは？ご本人が望む暮らしとは？危険も伴いますが本人が選択をし、暮らし方を決められるように、ご本人に合わせた説明を行い、選択をしてもらえるように職員とは考えてきました。

一方、施設では、在宅よりも安全な暮らしがあります。ただ、人は安全だけを求めて暮らしている訳ではないと思っています。制限はありますがその中で出来る、その人らしい暮らしや選択する機会は大事だと考えます。人の考え方は十人十色であり、ご本人、ご家族、施設職員が同じ方向、目標へ向かう必要があります。今後は、担当者会議へご家族が可能であれば参加いただく取組も検討をしています。

総務部はすべての事業、職員に関わることが出来る部署です。ご本人、ご家族、職員の誰もが「その人らしい暮らし」が出来るよう、サポート役となり動いていきたいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

総務部・在宅事業部 部長 浦田民恵

法人理念

「働き易い職場を創り、快適なサービスを提供する。」



新入職員紹介

令和7年4月からあゆみえんに7名の新卒職員が入社しましたので紹介したいと思います。社会人生活1年目ですがそれぞれが目標を抱き福祉の仕事と日々一生懸命向き合っています。どうぞよろしくお願いいたします。

牧島さん 保育課

趣味はドラマを見ることです。園児と保護者の皆さまが安心して毎日をご過ごせるよう、思いやりを大切にしながら、笑顔あふれる保育を目指して頑張ります。



東さん 総務課栄養係

趣味は古着屋巡りです。一日でも早く業務を覚えて、ご利用者様に食事を通して施設での生活をより楽しんでいただけるように頑張ります。



新島さん 介護事業部第1課

趣味は体を動かすことです。ご利用者様に寄り添った機能訓練を計画し、楽しいリハビリを提供できるように頑張ります。



田村さん 介護事業部第2課

趣味はバスケの試合を見ることです。ご利用者様、ご家族様のことを第一に考え、業務に取り組み、充実した生活を送っていただけるように頑張ります。



松本さん 介護事業部第4課

趣味は柔道です。ご利用者様と接するときは、笑顔を忘れずに一人ひとりに合わせたケアを提供できるように頑張ります。



芳賀さん 介護事業部第5課

趣味はゲームです。社会人になったばかりでまだまだ未熟ですが、ご利用者様が安心安全な生活を送れるようサポートしていきたいと思います。



介護事業部第4課 課長 岸清孝

生活支援コーディネーター (地域支え合い推進員)とは？

在宅事業部

地域包括支援センターでは、新たに令和7年度から生活支援体制整備事業の委託を受けることとなりました。高齢者の多様化する生活を、私たちが中心となって、さまざまな生活支援サービスを担う事業主体と連携しながら、**支援体制の充実・強化そして高齢者の社会参加の推進**をすることを目的としています。

そんな地域を支える強い味方が“生活支援コーディネーター”です！

地域包括支援センターあゆみでは、生活支援コーディネーターとして社会福祉士が1名、既存の在宅医療・介護の連携強化のため看護師1名を新たに迎え入れました。多職種で連携し、高齢者の多様化する生活や権利擁護等の様々な支援を行うことで、住み慣れた地域で、いつまでも、自分らしく、安心して生活を送ることができるよう、チーム一丸となって取り組んでいます。

地域包括支援センターあゆみ 一同



さまざまな人と関わることができる大変魅力的なお仕事です！それぞれの役割を果たせるよう頑張っていきます。

社会福祉士：飯沼健斗
看護師：石橋智子

あゆみ保育園だより



新年度が始まって約4ヶ月が過ぎようとしています。あどけない顔で入園してきた子ども達も、たくましさを感じるほどの成長が見られます。



保育園ではプール開きも無事終わりました。子ども達は大好きな水遊びを心待ちにしています。夏ならではの色々な経験が、さらに子ども達を大きくしてくれるでしょう。秋にはご利用者の方と一緒に羽村動物園に行く予定です。笑顔が溢れる一日になるように計画したいと思います。



あゆみ保育園 園長 濱中美穂

デ イ サ ー ビ ス セ ン タ ー

あゆみえんです！

段々と暖くなり青葉も美しく咲く季節になってきました。デイサービスでは、天気の良い日にはあゆみえんの屋上へ行き富士山を眺めたりと外気浴を楽しんでいます。普段見ている景色とは違う視点から青梅の街を見渡しながら皆様、お話を花を咲かせていらっしゃいます。

介護事業部第1課 波多野実咲



医務課便り

夏場に多い熱中症と脳梗塞の見分け方

ようやく梅雨が明け、夏本番を感じさせる陽気が続いています。いかがお過ごしでしょうか。

毎日ニュースで「熱中症に注意！」と取り上げられると、室温管理、塩分・水分補給に対する意識が高くなります。しかし、夏場の水分不足が引き起こすのは熱中症ではありません。

熱中症以外にも、脳梗塞や心筋梗塞などが挙げられますが、特に脳梗塞については熱中症と初期症状が似ているため注意が必要です。

猛暑で体調が悪くなり、めまいや吐き気、ふらつきなどの症状が出たら熱中症を疑います。しかし、身体の水分が不足し、血液中の水分が減ってくると血液の濃度が濃くなって、体内の血液がドロドロになってき

ます。すると血管の中に血栓（血の塊）が出来て、この血栓が脳の血管を詰まらせることがあります。その際に生じる症状が、熱中症の症状と似ているため、見分けることが重要になります。

熱中症と脳梗塞の見分け方は、熱中症の症状に加えて脳梗塞は、麻痺が発生します。顔や腕のしびれ・麻痺、呂律が回らない、力が入らないなどがあります。

予防法は熱中症と同様に水分補給です。寝る前・起床時・入浴の前後など、発汗量を上回るように水分摂取しましょう。

暑い日が続きますが体調管理に十分注意し夏を楽しみましょう。

医務課 入山奈央

